

大会名称: **第20回東北大学バスケットボールリーグ**
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: **東北学院大学 泉キャンパス体育館**

試合区分: **No. 8B1** 1次リーグ コミッショナー: **佐々木桂二**

期 日: **2019(R01)年9月8日(日)** 主審: **野崎 梨奈**

開始時間: **10:30** 副審: **佐々木 佳祐 相澤 慎之介**

終了時間:

山形大学 (一部 5位)	○	18 -st1- 20	●	岩手大学 (一部 6位)
	83	28 -2nd- 21		
		15 -3rd- 16		
		22 -4th- 19		
		-OT1-		
	-OT2-			
	-OT3-			

山形大学

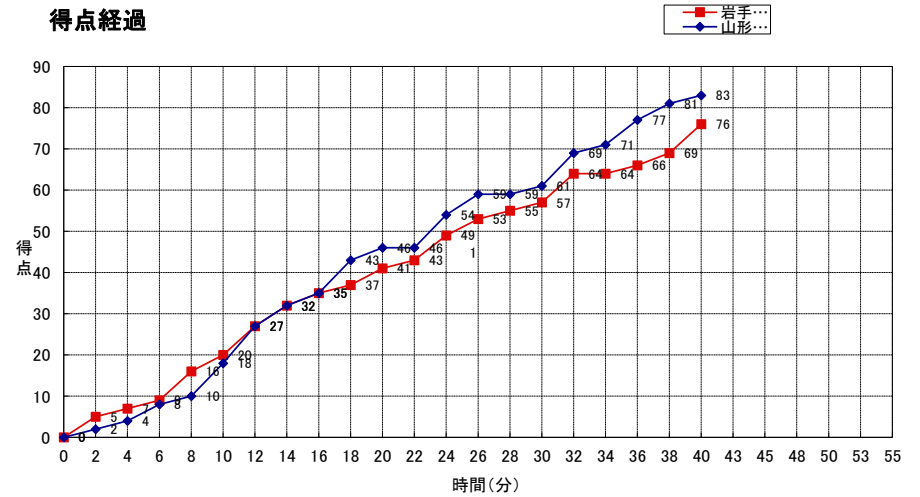
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
19	*	米川 奈那恵	23	3	6	6	22	2	6	0	4	2	6	0	3	0	0	0
5	*	村中 つかさ	22	5	16	3	8	1	2	0	1	5	6	0	6	0	0	0
6		田中 隼	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	2	0	0	0
9		駒ヶ嶺 里帆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		文倉 陽菜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	*	梅宮 彩乃	7	1	10	2	3	0	0	0	6	5	11	0	2	0	0	0
12	*	佐藤 美羽	15	2	9	4	5	1	1	0	3	3	6	0	1	0	0	0
21		金井 萌夏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	*	相原 百良	16	0	0	7	10	2	3	0	4	1	5	0	0	0	0	0
0		桜井 菜月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM 合計			83	11	42	22	48	6	12	0	19	18	37	0	14	0	0	0:00
				26.2%		45.8%		50.0%										

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
24	*	佐々木 祐帆	26	6	13	4	6	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0
9	*	中田 夏海	14	0	0	7	16	0	4	0	3	5	8	0	2	0	0	0
11		堀口 奈湖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	*	菊地 美佳	8	0	1	4	6	0	0	0	5	12	17	0	5	0	0	0
15	*	加賀屋 綾乃	5	1	1	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0
21	*	佐藤 実祐	23	1	4	9	18	2	3	0	5	3	8	0	4	0	0	0
26	*	高橋 美希	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	2	0	0	0
28		久保 里奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33		津川 梓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35		村上 凜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39		村上 唯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
59		佐藤 麗奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM 合計			76	8	20	25	48	2	7	0	14	28	42	0	13	0	0	0:00
				40.0%		52.1%		28.6%										

PST: ポイント M: 成功 FG: フィールドゴール 3P: 3ポイントシュート E: ファウル OR: オフェンスリバウンド TO: ターンオーバー AS: アシスト MIN: 出場時間
 A: 試投 2P: 2ポイントシュート DR: ディフェンスリバウンド ST: スティール S: スクリーン
 %: シュート率 FT: フリースロー TOT: トータルリバウンド BS: ブロックショット OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

第一ピリオドは両チームともシュートが決まらず、点差が離れない試合展開であったが、第二ピリオドシュートが決まり始め、激しい攻防が繰り返されるなか、岩手大学のターンオーバーが続き、山形大学のシュートが連続して決まったことにより、点差が少し離れ後半戦へともつれ込む。第三ピリオドが始まったが序盤から第二ピリオドと同じように点の取り合いが続く。一時山形大学が流れをつかむシュエーションがあったが、それを許さない岩手大学がインサイドをうまく使い、点差が離れることなく最終ピリオドへ。第三ピリオド序盤岩手大学が連続シュートを決め、逆転をするが山形大学のタイムアウトをはさみ、ターンオーバーが続いてしまい、山形大学がその間に再逆転をする展開になった。山形大学の流れを止めようと岩手大学もタイムアウトをとるが、その後も山形大学が流れにのり続け、点差が離れてしまい最終スコア83-76で山形大学が勝利し試合終了。

○第1ピリオド 出だしは両チームともシュートが入らず、得点が動かなかった。しかし、岩手大学の#9のオフェンスリバウンドにより少しずつ点差を離していく。さらに、外角シュートも決まり始める。山形大学が後半、積極的にシュートを狙いに行き得点をかさね、20-18で岩手大学がリードして第一ピリオド終了

○第2ピリオド 序盤から激しい攻防が続く。両チームとも外角シュートが決まり始め、点の取り合いとなった。その中、岩手大学のターンオーバーが続いてしまいその間に山形大学が着々と点差を離し始める。終わり間際岩手大学#24がブザービートを決め、41-46で山形大学がリードし、第二ピリオド終了。

○第3ピリオド 後半戦が始まり4分がたったところで山形大学#5が連続スリーポイントを決めた事により試合の流れが山形大学に傾く。しかし、岩手大学はセンターの高さを活かしくらいついていったことにより、山形大学は点差が離れず苦しむ。試合展開はその後も変わらず、61-57で山形大学がリードし最終ピリオドへ。

○第4ピリオド 序盤に岩手大学が三連続シュートを決め、逆転をして流れにのる。しかし、山形大学がタイムアウトを取ったことにより、流れがとまり、山形大学が連続シュートを決め再逆転する。岩手大学はタイムアウトを取ったが、その後ターンオーバーが続いてしまい点差は徐々に離れ始める。第四ピリオド後半、岩手大学の速攻が連続で決まり、追い付くかと思えたが、山形大学が点差をキープし、83-76で山形大学が勝利

担当者: ()

東北大学バスケットボール連盟